

令和6年5月20日  
特別支援教育課 企画係  
027-226-4651

## インクルーシブ教育推進のモデル校の決定について

令和6年度から本格的にインクルーシブ教育推進に取り組むに当たり、群馬県におけるインクルーシブ教育推進のモデル校が決定したので報告する。

### 1 モデル校

玉村町立上陽小学校 群馬県佐波郡玉村町樋越921-1

全校児童 258人 14学級

(1・2・4～6年各2学級、3年1学級、特別支援学級3学級)

※R6.4.7現在(玉村町ホームページ)

### 2 モデル校における取組の概要

文部科学省「インクルーシブな学校運営モデル事業」を活用し、以下の研究に取り組む。

#### (1) 「インクルーシブな授業づくり」

学級や学校の枠を超えて、すべての子供たちが一緒に授業に取り組めるよう研究する。例えば、図工の授業で障害のある子とない子が一緒になって、1つの大きな作品作りに取り組むことなどを想定している。

#### (2) 「子供一人一人にマッチする学び方」

「ICTを活用して自分のペースで学ぶ」、「友達と話しながら学ぶ」、「一人で落ち着いて学ぶ」といった一人一人に合った学びが実現できるような学習環境を整える。

### 3 群馬県インクルーシブ教育推進に係るモデル校以外の取組内容

(1) 基礎的な調査研究として、県内外の有識者による有識者会議で、海外調査先や群馬県におけるインクルーシブ教育推進方針を検討する。

(2) 県内の児童生徒や保護者、教職員等学校関係者だけでなく、広く県民に取組や理念を周知するためのシンポジウム等のイベントを開催する。また、国内外調査の報告、教員研修等理解促進に関する取組を行う。

障害の有無を問わず 子どもたちが同じ場所で学ぶ

# インクルーシブ教育モデル校決定



玉村町立上陽小学校

# インクルーシブ教育 今後の進め方

モデル校  
実践研究

① インクルーシブな  
授業づくり

② 子ども一人ひとり  
に合った学び方

教員サポート体制

カリキュラム・マネージャー インクルーシブ・サポーター

基礎的な  
調査研究

海外先進事例  
を調査

意見聴取

有識者  
会議

理解促進

シンポジウム  
教員研修

意見聴取

意見聴取

インクルーシブ教育の「**群馬モデル**」を県内に展開